

# 総務文教常任委員会資料

令和8年3月2日

まちづくり政策部企画政策課

【目 次】

1. 令和7年度加東市の公共交通施策に係る取組状況について・・・・・・・・・・P.1

# 令和7年度 加東市の公共交通施策に係る取組状況について

## 1 路線バスの維持・確保及びルート等の見直し

路線バス社西脇線について、引き続き国・県の補助事業を活用し路線を維持していくため、沿線市町である西脇市と協調し、利用実態に沿った運行経路・ダイヤの検討やガイドブックなどによる利用促進に努めることを定める利用促進計画を策定した。

## 2 社市街地乗合タクシーの維持・拡充（目標値：20人／日）

社市街地内の移動手段として運行を継続して実施した。令和6年4月に大幅なルート改正を実施して以降、利用者は増加傾向にある。

### 【乗合タクシー「伝タク」の利用状況】

	令和2年度 7月～12月	令和2年度 1月～3月	令和2 年度計	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和7年度 R7.4-R8.1
概要	7便/日 13停留所	5便/日 16停留所		5便/日 16停留所	5便/日 16停留所	5便/日 16停留所	7便/日 22停留所	7便/日 22停留所
運行日数	122日	60日	182日	243日	246日	242日	241日	202日
利用者数	423人	228人	651人	1,138人	1,815人	2,249人	2,884人	2,722人
1日当たりの 利用者数	3.47人 /日	3.80人 /日	3.58人 /日	4.68人 /日	7.38人 /日	9.29人/ 日	11.97 人/日	13.48 人/日
1便当たりの 利用者数	0.50人 /便	0.76人 /便	0.56人 /便	0.94人 /便	1.48人 /便	1.86人/ 便	1.71人 /便	1.93人 /便

### 3 自家用有償旅客運送（自主運行バス）の維持・拡充

地域からの要望を反映し、令和7年7月1日付で、米田ふれあい線及びきよみず線に「坂本医院」停留所を追加し、福田ふくふく線に「上田公民館」を追加した。加えて、効率的な運行のため、きよみず線の降車専用区間で回送運行の実施を予定している。

また、安全で確実な運行とするよう、運行会議で運行上の注意事項等を確認するとともに、加東警察署による安全運転講習や、運行時に講師が同席し、運転技術等の確認を行う運転者講習を実施した。

#### 【自家用有償旅客運送各路線の利用状況】

米田ふれあい線 (4便/日)	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和5 年度	令和 6年度	令和7年度 R7.4-R8.1
運行日数	146日	143日	146日	142日	141日	95日
利用者数	896人	706人	634人	727人	706人	622人
1日当たりの利用者数	6.14人 /日	4.94人 /日	4.34人 /日	5.12人 /日	5.01人/ 日	6.55人 /日
1便当たりの利用者数	1.53人 /便	1.23人 /便	1.09人 /便	1.28人 /便	1.25人/ 便	1.64人 /便

きよみず線 (6便/日)	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和7年度 R7.4-R8.1
運行日数	97日	99日	99日	97日	98日	73日
利用者数	399人	529人	680人	656人	550人	334人
1日当たりの利用者数	4.11人 /日	5.34人 /日	6.87人 /日	6.76人 /日	5.61人/ 日	4.58人 /日
1便当たりの利用者数	0.69人 /便	0.89人 /便	1.14人 /便	1.13人 /便	0.94人/ 便	0.76人 /便

とうじょうあいあい線 (4便/日)	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和7年度 R7.4-R8.1
運行日数	97日	99日	99日	98日	98日	74日
利用者数	269人	299人	412人	301人	324人	319人
1日当たりの利用者数	2.77人 /日	3.02人 /日	4.16人 /日	3.07人 /日	3.31人/ 日	4.31人 /日
1便当たりの利用者数	0.69人 /便	0.76人 /便	1.04人 /便	0.77人 /便	0.83人/ 便	1.08人 /便

福田ふくふく線 (4便/日)	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和7年度 R7.4-R8.1
運行日数	143日	148日	147日	149日	114日
利用者数	615人	798人	830人	883人	606人
1日当たりの利用者数	4.30 人 /日	5.39 人 /日	5.65 人 /日	5.93 人 /日	5.32 人/ 日
1便当たりの利用者数	1.08 人 /便	1.35 人 /便	1.41 人 /便	1.48 人 /便	1.33 人/ 便

#### 4 地域の実情に応じた新たな移動手段の確保

##### (1) デマンド型交通の本格実施

令和7年度から福祉施策として本格的に開始するにあたり、乗降制限を大幅に緩和し、特に市外の西脇病院・北播磨総合医療センター・加西病院への移動を利用可能とした。また、制限緩和に合わせ、利用可能なタクシー事業者を増加させた。その結果、登録者及び利用件数が令和6年度から大幅に増加した。

##### 【デマンド型交通の利用状況】

	令和5年度 (1～3月)	令和6年度	令和7年度 (R7.4～R8.1)
登録者数	646人	933人	1,856人
利用件数	1,361件	7,744件	11,210件
利用者負担額/件	391円/件	608円/件	724円/件
市補助額/件	1,399円/件	1,119円/件	1,125円/件

##### (2) 滝野コミュニティバスの実証実験（目標値：5人/便、見直し基準：3人/便）

令和7年1月から令和8年3月末までの期間、滝野地域-社市街地間を運行する滝野コミュニティバスの実証実験を実施した。その結果、1便当たり利用者数が1.27名となり、運行見直し基準を下回った。このため、令和8年4月付で利用促進を目的としたルート・ダイヤ改正を実施し、実証実験期間を1年間延長することを予定している。

##### 【滝野コミュニティバスの利用状況】 令和7年1月～令和8年1月

	光明寺ルート	稲尾ルート	高岡ルート	計
運行日数	110日	110日	110日	330日
利用者数	864人	885人	766人	2,515人
利用者数/日	7.85 人/日	8.05 人/日	6.96 人/日	7.62 人/日
利用者数/便	1.31 人/便	1.34 人/便	1.16 人/便	1.27 人/便

## 5 観光地への移動手段の検討

観光地への移動手段として、滝野コミュニティバスの停留所に「加東アート館」及び「滝野温泉ぽかぽ」を追加することを予定している。

また、沿線協議会各市町、北播磨県民局と連携し、JR加古川線の沿線ガイドを作成し、観光客の地域公共交通の利用促進に向けて、情報提供を実施した。

## 6 バスターミナルにおける交通結節点機能の強化

新たな交通結節点として、令和4年10月から供用を開始した加東バスターミナルについて、特に高速バスについて乗り入れ便数が増加したことに加え、観光バスにおいても乗入便数が増加した。

### 【路線バスの乗入便数】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
乗入便数	101便	109便	109便	110便

### 【観光バスの利用実績】

	令和4年度 (10月～3月)	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (R7.4-R8.1)
乗入便数	91便	349便	433便	436便
利用者数	1,770人	5,842人	7,702人	7,729人

## 7 交通結節点の利用環境の向上

快適な駅前環境の整備のため、滝野駅トイレをLED化し、和式便器を洋式化・既存便器の更新を実施した。

## 8 バスロケーションシステム等を活用した利便性の向上

昨年度に引き続き、乗合タクシー「伝タク」のGTFSデータを公開した。また、にぎわい交流施設halK内のサイネージ（バス時刻表示）に滝野コミュニティバスを追加した。

## 9 鉄道・高速バスによる広域へのアクセス性の向上

JRとの接続を重視し、公共交通機関を乗り継ぐことにより、広域な移動を可能とする滝野コミュニティバスの実証実験を継続して実施した。令和8年4月からは実証実験での結果を踏まえ、実証期間の延長を予定している。

## 10 タクシーの有効活用

高齢者のタクシー助成サービスであるデマンド型交通について、令和7年4月から移動制限を大幅に緩和し、本格的に開始した。本格開始に合わせ、一般タクシー事業者3社及び介護タクシー事業者4社を新たにデマンド型交通利用可能とした。

## 11 利用しやすい料金体系の構築

令和4年4月に導入した市内一律運賃制度に基づき、市内移動における路線バスの運賃（NicoPaカード利用時のみ）、加東市乗合タクシー、滝野コミュニティバスの運賃及び自主運行バスの運賃を一律100円として実施している。

また、市役所において、NicoPaカードの販売を行い、市内一律運賃制度の利用促進に取り組んでいる。

### 【路線バス一律運賃制度利用件数推移】

	令和4年度 (R4.4～R4.9)	令和5年度 (R4.10～R5.9)	令和6年度 (R5.10～R6.9)	令和7年度 (R6.10～R7.9)
利用件数	26,701件	57,989件	65,280件	74,735件

## 12 商業施設等と連携した取組

滝野コミュニティバス、乗合タクシー「伝タク」、自家用有償旅客運送等に商業施設停留所を設置している。また、滝野コミュニティバスの利用促進施策として、令和8年4月から「加東アート館」及び「滝野温泉ぼかぼ」と滝野地域との往復運行を予定している。

## 13 モビリティ・マネジメントの継続実施

市内の公共交通を網羅する加東市公共交通ガイドブックを発行し、全戸に配布した。

また、令和7年12月に、社学園の4年生全4クラスを対象とした、神姫バス株式会社による「バスの乗り方教室」を実施した。

## 14 地域公共交通の維持に向けた体制の強化

自主運行バスを維持・継続するために、今年度から新たに2名が運転手として参加した。また、来年度に向け、現在1名の新規運転手の参加を予定している。